

議会運営委員会

令和3年2月19日（金曜日）午前10時開会

出席委員（10名）

委員長	相馬剛
委員	山形紀弘
委員	田村正宏
委員	眞壁俊郎
議長	吉成伸一

副委員長	齊藤誠之
委員	中里康寛
委員	鈴木伸彦
委員	玉野宏
副議長	松田寛人

欠席委員（なし）

説明のための出席者

市長	渡辺美知太郎
副市長	亀井雄
企画部長	小出浩美
気候変動対策局長	黄木伸一
総務課長補佐	菊地直路

副市長	渡邊和明
総務部長	石塚昌章
市民生活部長	鹿野伸二
総務課長	五十嵐岳夫
行政係長	佐藤吉将

出席議会事務局職員

議会事務局長	増田健造
議事課長補佐 兼庶務係長	印南恵子
議事課主査	鎌田栄治
議事課主任	伊藤奨理

議事課長	小平裕二
議事調査係長	佐々木玲男奈
議事課主査	飯泉祐司

議事日程

- 1 開会
- 2 挨拶
 - ・委員長
 - ・議長
 - ・市長

3 協議事項

(1) 令和3年第2回那須塩原市議会定例会について

①提出案件について

○市長提出案件 45件

- ・同意案件 4件
- ・補正予算案件 8件
- ・当初予算案件 9件
- ・条例案件 13件
- ・契約案件 1件
- ・財産の取得案件 1件
- ・規約の変更案件 1件
- ・計画案件 7件
- ・報告案件 1件

(即決案件)

(追加案件)

○議会提出案件 2件

- ・選挙案件 1件
- ・条例案件 1件

(即決案件)

(追加案件)

②議案に対する質疑・討論について

③会派代表質問(通告会派3会派)について

④市政一般質問(通告者16人)について

⑤請願・陳情等の取扱いについて

○新規に受理した請願・陳情等 1件(別紙請願・陳情等文書表)

⑥会期及び会期日程について

○会期は2月26日(金)から 月 日()までの 日間

○日程(別紙案)

(2) 議会基本条例第11条に基づく計画等について

(3) 令和3年度議会取組実行計画について

(4) 那須塩原市議会会議規則の一部改正について

(5) 3月議会の対応について

(6) その他

4 閉会

開議 午前10時00分

◎開議の宣告

○相馬委員長 おはようございます。

本県の緊急事態宣言は解除されましたが、21日までは注意喚起期間としていることから、本日の委員会もウェブ会議とさせていただきます。

委員の皆様、そして、市長はじめ執行部の皆様、大変お忙しい中、御参加いただきましてありがとうございます。

ただいまより議会運営委員会を開催いたします。



◎委員長挨拶

○相馬委員長 新型コロナウイルス感染症の状況は、全国的に減少傾向となっているように思いますが、一昨日から先行的にワクチン接種が開始されたという報道もあり、この問題の鎮静化につながることを期待したいと思います。ですが、これが気の緩みにつながり、第4波にならないよう、さらに気を引き締めていかなければならないというふうにも思っております。

さて、本日の協議事項は、3月定例会について、また、11条関係の計画等について、さらに令和3年度の取組実行計画についてなど、多くの協議事項となっております。

3月議会は、私たちの任期中最後の定例会となります。議会機能強化の集大成として臨みたいと思っております。

本日の委員会も皆様の御協力を得まして円滑な会の運営を進めさせていただきたいと思います。

以上で開会の挨拶とさせていただきます。



◎議長挨拶

○相馬委員長 続きまして、議長から挨拶をいただきます。

吉成議長、よろしくお願いします。

○吉成議長 皆さん、おはようございます。

本日は、3月議会定例会に先立っての議会運営委員会に御参集いただき、ありがとうございます。

また、本日もウェブ会議による会議となりました。

せんだっての2月10日に開催いたしました議員全員協議会、ここでは30人を超える方々の参加の中でのウェブ会議でありましたけれども、大きな混乱もなく開催ができました。とはいえ、まだまだ改善の余地があるかなとそんなことも感じておりますので、今後もウェブ会議をよりスムーズにするための改善を皆さんで行ってまいりたいと思いますので、その点もよろしくお願いをいたします。

さて、2月13日11時過ぎでしたか、福島沖を震源とした大きな地震がありました。本市は震度4ということでしたけれども、体感的には5ぐらいじゃないかなという感じがいたしました。幸いにも市内で大きな被害はございませんでしたけれども、市内の中でも、私の家もそうでしたけれども、約3時間強停電という事態になってしまいました。改めて、やはり地震、それからほかの災害もありますが、備えをしっかりとっておかないと駄目だなということを感じました。喉元過ぎれば熱さ忘れると言いますが、常に対応というのは必要だなということも感じております。

さて、本日は多くの協議事項がございます。慎重なる審議をお願いいたしまして挨拶といたします。

○相馬委員長 ありがとうございます。

◇

◎市長挨拶

○相馬委員長 次に、市長から御挨拶をいただきます。

渡辺市長、よろしくお願いします。

○渡辺市長 議会運営委員会の機会をいただきましてありがとうございます。

いよいよ国内ではワクチン接種が始まりました。栃木県は25日からになりますが、これは国立病院機構等が対象になりますので、宇都宮市1か所のみとなります。本市については、報道であるとおりますが、3月の中旬から始まるわけでございますが、今週末の日曜日、皆様にも御連絡していますが、合同で、大田原、那須町、那須塩原合同で、ワクチン接種のデモンストレーションを行う予定であります。

少しずつワクチン接種をするんだという機運が広まりつつあるのではないかなと思っておりまして、昨日はリモートによるみちたろうTOわくわくトークを行いました。鍋掛地区の方々でしたが、ワクチン接種、皆さん高い関心を示されていたのと、多くの方が接種したいということでございました。コロナ禍を脱却するには、このワクチン接種が大きな転換点になると思っておりまして、引き続き、より早く、多くの方に受けていただけるように体制を万全にしたいなというふうに思っております。

今回、議会定例会に御提案申し上げます人事案件4件、令和2年度補正予算案件8件、令和3年度当初予算案件9件、条例の制定及び一部改正案件13件、契約の変更案件1件、財産の取得案件1件、広域行政事務組合規約の変更案件1件、各種計画案件7件、専決処分の報告案件1件の合計45

件となります。

議案等の概要につきまして、この後、総務部長が説明いたしますが、いずれも重要な案件でありますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

また、議会基本条例第11条に該当する計画等の協議についても、この後、担当部長が説明いたしますので御審議いただきますようお願いを申し上げます。また、私からの御挨拶といたします。

○相馬委員長 ありがとうございます。

◇

◎協議事項

○相馬委員長 それでは、3の協議事項に入ります。

(1)令和3年第2回那須塩原市議会定例会について、まず、①提出案件についてを議題といたします。

市長提出案件について執行部から説明をお願いします。

総務部長。

○石塚総務部長 令和3年第2回那須塩原市議会定例会に提案を予定しております市長提出議案につきまして御説明を申し上げます。

今回提案を予定しております案件は、ただいま市長が申し上げましたとおり45件であります。各案件の取扱いについて御審議をいただきますようよろしくお願いをいたします。

なお、過日、議員全員協議会におきまして、議案の概要を若干説明をさせていただきました。その案件につきましては、本日の説明は省略をさせていただきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いをいたします。

それでは、順次御説明を申し上げます。

初めに、同意第2号 那須塩原市監査委員の選

任についてでございます。

本案は、1名の委員が本年3月23日をもって任期満了となることから、現在の委員であります大場浩一氏を再任いたしたく、地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めるものであります。

次に、同意第3号 那須塩原市公平委員会委員の選任についてでございます。

本案は、3名の委員であります。3名の委員が本年3月31日をもって任期満了となることから、現在の委員であります君島富夫氏、伊澤正之氏及び阿美豊氏を再任いたしたく、地方公務員法第9条の2第2項の規定により議会の同意を求めるものであります。

次に、同意第4号 那須塩原市教育委員会委員の任命についてでございます。

本案は、1名の委員が本年の3月23日をもって任期満了となることから、現在の委員であります大澤真弓氏を再任いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求めるものであります。

次に、同意第5号 人権擁護委員の候補者の推薦についてでございます。

本案は、2名の委員が本年6月30日をもって任期満了となることから、福田一郎氏及び相馬裕子氏を推薦することについて、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものであります。

次に、議案第2号 令和2年度那須塩原市一般会計補正予算（第11号）、次に、議案第3号 令和2年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第6号）、次に、議案第4号 令和2年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）、次に、議案第5号 令和2年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第5号）、次に、議

案第6号 令和2年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第3号）、次に、議案第7号 令和2年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第4号）、次に、議案第8号 令和2年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第4号）、次に、議案第9号 令和2年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第3号）、以上の8件の令和2年度補正予算案件を提出いたします。

次に、議案第10号 令和3年度那須塩原市一般会計予算、次に、議案第11号 令和3年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算、次に、議案第12号 令和3年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算、次に、議案第13号 令和3年度那須塩原市介護保険特別会計予算、次に、議案第14号 令和3年度那須塩原市温泉事業特別会計予算、次に、議案第15号 令和3年度那須塩原市墓地事業特別会計予算、次に、議案第16号 令和3年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計予算、次に、議案第17号 令和3年度那須塩原市水道事業会計予算、次に、議案第18号 令和3年度那須塩原市下水道事業会計予算、以上の9件の令和3年度当初予算案件を提出いたします。

次に、議案第19号 那須塩原市手話言語条例の制定について、次に、議案第20号 那須塩原市固定資産評価委員会条例の一部改正について、次に、議案第21号 那須塩原市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について、次に、議案第22号 那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について、次に、議案第23号 那須塩原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について、次に、議案第24号 那須塩原市職員等の旅費に関する条例の一部改正について、次に、議案第25号 那須塩原市財政状況の公表に関する条例の一部改正について、次に、議案第26号 那須塩原市国民健康保険税条

例の一部改正について、次に、議案第27号 那須塩原市公民館条例の一部改正について、次に、議案第28号 那須塩原市介護保険条例の一部改正について、次に、議案第29号 那須塩原市まちなか交流センター条例の一部改正について、次に、議案第30号 那須塩原市板室健康のゆグリーングリーン条例の一部改正について、次に、議案第31号 那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について、以上の13件の条例の制定及び一部改正の案件についてを提出いたします。

次に、議案第32号 契約の変更についてでございます。

こちらの案件についても提出をいたします。

続いて、議案第33号 財産の取得についてでございます。

本案は、新庁舎建設用地の取得について、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求めるものであります。

取得用地の概要でございますが、所在は那須塩原市前弥六南町7番1ほか16筆、関係地権者は共有名義を含んだ12名、取得価格は8億4,346万7,644円でございます。

次に、議案第34号 那須地区広域行政事務組合規約の変更についての案件を提出をいたします。

次に、議案第35号 那須塩原駅周辺まちづくりビジョンについてでございます。

本案は、30年後の令和32年度を目標年次といたしまして、那須塩原駅周辺を那須塩原市、また県北、栃木県の北都の玄関口としてよりふさわしいエリアとしていくため、そのあるべき姿、目指すべき将来像を明確にすることを目的に策定するものでございます。那須塩原市議会基本条例第11条第2号の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第36号 那須塩原市国土強靱化地域

計画について、次に、議案第37号 第6期那須塩原市障害福祉計画及び第2期那須塩原市障害児福祉計画について、次に、議案第38号 第8期那須塩原市高齢者福祉計画について、次に、議案第39号 那須塩原市森林整備計画について、次に、議案第40号 那須塩原市観光マスタープランについて、次に、議案第41号 第2期那須塩原市下水道中期ビジョンについて、以上7件の各種計画の案件を提出をいたします。

最後になります。

報告第4号 専決処分の報告について、契約の変更の案件でございます。

本件は、平成31年第1回那須塩原市議会定例会において議会の議決を得て締結し、令和2年第5回那須塩原市議会定例会において議会の議決を得て変更した那須塩原市第2一般廃棄物最終処分場整備工事の契約の変更につきまして、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により御報告を申し上げます。

変更の内容でございます。玉石の混入量及び盛土量の確定、これに伴う数量の変更、また張芝の材料及び既設量水器の位置の変更、こういったことを行ったことによりまして83万1,600円を減額したものであります。

以上、45件の案件につきまして、市議会定例会への提案を予定しております。取扱いにつきましてよろしく審議いただきますようお願いを申し上げます。関係議案の説明とさせていただきます。

以上です。

○相馬委員長 説明が終わりました。

委員から質疑はございますでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようですので、質疑を終了いたします。

即決案件はございますか。

総務部長。

○石塚総務部長 即決の取扱いをお願いしたいものが13件ございます。

初めに、同意第2号 那須塩原市監査委員の選任について、次に、同意第3号 那須塩原市公平委員会委員の選任について、次に、同意第4号 那須塩原市教育委員会委員の任命について、次に、同意第5号 人権擁護委員の候補者の推薦について、以上4件につきましては人事案件ということで、即決としてお願いをしたいと考えているところでございます。

次に、議案第2号 令和2年度那須塩原市一般会計補正予算（第11号）、次に、議案第3号 令和2年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第6号）、次に、議案第4号 令和2年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）、次に、議案第5号 令和2年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第5号）、次に、議案第6号 令和2年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第3号）、次に、議案第7号 令和2年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第4号）、次に、議案第8号 令和2年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第4号）、次に、議案第9号 令和2年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第3号）、以上の8件につきましては、年度末を控えた各事業費の過不足調整などに係る令和2年度補正予算案件でございます。

いずれも予算執行の期間を確保したいという観点から、即決でお願いできればというふうに考えているところでございます。

最後になりますが、議案第33号 財産の取得についてでございます。

本案は、先ほど御説明申し上げました新庁舎建設用地の取得に関するものでございます。議決を

いただいた後に本契約締結の運びになってまいります。本契約の締結後は、速やかに所有権移転の登記、土地の引渡しなどの手続を進め、地権者への代金の支払い等を年度内に完了したいと考えているところでございます。

これにつきましても、即決でお願いできればというふうに考えているところでございます。

以上13件につきまして、取扱いのほどをよろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○相馬委員長 ただいま即決案件の説明に対し、委員の皆様から質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 質疑がないようですので、議案の取扱いについてお諮りいたします。

ただいま説明がありました同意第2号から同意第5号までの同意案件4件、議案第2号から議案第9号までの補正予算案件8件及び議案第33号の財産の取得案件1件の計13件は、即決扱いとすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議がないものと認め、そのように取り扱います。

また、ただいまの即決案件の13件及び報告案件1件を除く31件の議案につきましては、各常任委員会へ付託することで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、追加案件はございますでしょうか。

総務部長。

○石塚総務部長 追加議案として予定しておりますのが9件ございます。

初めに、令和2年度那須塩原市一般会計補正予算、これは第12号になります。

本案は、国の令和２年度補正予算（第３号）の補正に伴いまして、新型コロナウイルス感染症の対応地方創生臨時交付金、これらを財源として、早急に取り組むべき感染症対策に係る予算について事業の実施が見込まれる場合には、追加議案として提出をしたいと考えております。

次に、那須塩原市介護保険条例の一部改正についてでございます。

本案は、令和３年度の介護報酬の改定に併せ、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことに伴いまして、当該条例の一部を改正する必要が生じたため、追加議案として提出をしたいというふうに考えております。

次に、契約の締結についてでございます。

本案は、いちご一会とちぎ国体馬術競技会場整備工事の契約の締結について議会の議決を求めるものでございます。馬術競技会の開催に必要な馬場等の整備工事を２か年で行うものであります。現在、入札の手続を進めておりまして３月３日に落札者が決定する見込みでございまして、仮契約を締結した後、追加議案として提出をさせていただきたいと考えているところでございます。

次に、専決処分の報告について、損害賠償の額の決定及び和解の案件が６件ほど見込まれております。

本定例会の会期中に示談の見込みがございまして、市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解につきまして示談額となった場合には、追加議案として提出したいと考えております。

この専決処分の報告につきましては、６件の示談の見込みというのを今のところ考えているところでございます。

都合、合わせまして９件になりますが、追加議案として予定をしているところでございます。

以上でございます。

○相馬委員長 ただいまの追加議案の説明に対し、委員から質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 質疑がないようですので、追加案件の取扱いについてお諮りいたします。

ただいま説明がありました追加案件が提出された場合には、即決扱いとすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、議会提出案件についてでございますが、説明をお願いいたします。

課長。

○小平議事課長 議案提出案件でございますが、２件を予定してございます。

１件目は、選挙第１号 那須塩原市選挙管理委員及び同補充員の選挙についてでございます。

那須塩原市選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴い、地方自治法第182条の委員４名、補充員４名の選挙を行うものであります。

２件目は、発議第６号 那須塩原市食育推進条例の制定についてでございます。

食育に関する取組を総合的かつ計画的に推進するために条例の制定を行うものです。

以上２件を予定しております。よろしく願いいたします。

○相馬委員長 説明が終わりました。

ただいまの議会提出案件の説明に対し、委員から質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 質疑がないようですので、取扱いについてお諮りいたします。

ただいまの２件について、初日に上程し、即決

扱いとすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、議会提出案件の追加案件はありますか。
課長。

○小平議事課長 議会提出の追加案件でございますが、3件を予定しております。

この後、執行部退席後に協議予定となっております令和3年度の市議会取組実行計画、それから、市議会会議規則の一部改正についての2件が今定例会中に決定する予定となっております。

また、さきの議会運営委員会等で決定しております市議会委員会条例の一部改正の1件の合計3件が追加予定でございます。

また、3件とは別に、この後、請願・陳情等の取扱いと委員会付託についてで説明がございますが、今定例会に併せて1件の陳情の提出がございました。

取扱いにより審査になった場合、その結果によりましては、意見書の提出等が予定されます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○相馬委員長 ただいま事務局から説明がありました案件については、最終日に追加上程し、即決扱いとすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、②議案に対する質疑・討論についてを議題といたします。

まず、議案に対する質疑については、先例のとおり一問一答方式により行い、時間は質疑のみ1人15分以内とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取

り扱います。

次に、討論についてですが、こちらも先例のとおり1議題につき1人10分以内、賛成、反対、各5人までとしたいと思いますが、異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、③会派代表質問についてお諮りいたします。

今回、3会派からの通告がございます。

質問の方法につきましては、さきの委員会で決定したとおり、答弁を含め1会派70分以内とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、④市政一般質問についてお諮りいたします。

今回、16名の通告者がございます。

質問の方法については、さきの委員会で決定したとおり、答弁を含め1人60分以内とし、質問日については受付順、質問日における質問順については通告受付時の抽せん結果によるとすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、⑤請願・陳情等の取扱いと委員会付託についてを議題といたします。

内容について事務局から説明をお願いします。

係長。

○佐々木議事調査係長 それでは、陳情等文書表に基づきまして説明をさせていただきます。

今月12日に陳情がございました。

内容といたしましては、トンネルじん肺に関する陳情でございます。

陳情者といたしましては、トンネルじん肺根絶闘争本部からの陳情ございまして、陳情の要旨につきましては、トンネルじん肺の抜本的な対策を早急に講じられるよう国への意見書提出を求める内容となっております。

説明につきましては以上です。

○相馬委員長 すみません、陳情の内容について提出案というものがございまして、その1については、トンネルじん肺根絶のための対策を速やかに実行することということでございますので、これは工事に対するものということになりますと建設経済なのかなと、それから2番につきましては、労働者に対する補償基金制度を創設することと、基金制度ということでございますので、こちらにしますと総務企画常任委員会なのかなというようなところで、なかなか判断が難しいところだろうというふうに思いますが、再度、皆様から御意見をいただければと思います。

眞壁委員、お願いします。

ミュート外してください。

○眞壁委員 はい、すみません。

いろいろこれ3委員会に係りますので、できれば総務委員会のほうに付託という形でよろしいかなと思いますが、どうでしょうか。

○相馬委員長 ただいま眞壁委員から、総務企画常任委員会の付託ではという意見でございますが、ほかの委員からそれについて何か御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、総務企画常任委員会へ付託をするということで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、陳情第1号については総務企画常任委員会へ付託することいたします。

次に、⑥会期及び会期日程についてを議題いたします。

別紙日程案がございますので、事務局から説明をお願いいたします。

課長。

○小平議事課長 令和3年第2回那須塩原市議会定例会会期日程でございます。

会期につきましては、2月26日金曜日、開会、会期の決定、議案の提案説明、即決議案採決、即決議案につきましては、先ほど総務部長から説明があったとおりでございます。

27日、28日の土日休会を挟みまして、3月1日月曜日、会派代表質問を3会派、それから3月2日火曜日から5日金曜日の4日間、市政一般質問とし、それぞれ4人ずつ、6日、7日、土日の休会を挟みまして、8日月曜日は議案質疑と議案及び陳情の関係委員会付託を予定してございます。

9日火曜日から12日金曜日までの4日間は各常任委員会を予定してございます。

13日、14日の土日と15、16の月火の議事整理のための休会を挟みまして、17日水曜日、予算常任委員会の全体会を午前10時から、定例会中における議員全員協議会を午後1時半から予定してございます。

18日木曜日、各委員長の報告を得まして、質疑、討論、採決、閉会となります。

以上が予定でございます。

それから、当初予算、計画案件、質疑通告の締切りを3月1日の月曜日の午後5時を予定したいと思います。

それから、討論通告の締切りにつきましては12日金曜日の午後5時を予定したいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○相馬委員長 ただいま事務局から説明がございましたが、改めて申し上げます。

会期については、別紙案のとおり2月26日金曜日から3月18日木曜日までの21日間とし、会派代表質問については3月1日に、市政一般質問16人については3月2日から5日までの4日間に4人ずつとし、議案質疑は8日月曜日に行いたいと思いますが異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

また、討論通告書の提出期限については3月12日金曜日の午後5時とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

なお、3月17日水曜日に午前10時から予算常任委員会全体会を、午後1時30分から議員全員協議会の開催を予定しておりますので、お含みおきいただきたいと思います。

以上で(1)の協議事項は全て終了いたしました。

次第にはございませんが、今定例会について、その他として執行部から何かございますでしょうか。

総務部長。

○石塚総務部長 定例会におきます会派代表質問、また一般質問についての執行者の答弁につきまして、お知らせをさせていただきたい内容がございます。

これまで会派代表質問におきましては、1回目の答弁を全て市長が行っておりました。

答弁の内容にかかわらず、全ての項目について市長が答弁を行っていたわけでございますけれど

も、会派代表質問の中には、例えば市長の見解を求めるもの、また、市の大きな方針を決定するもの、そういったものも含まれているほか、各部にまたがる具体的な事案でありますとか、数字等を答弁としてするものもございました。

そういったこと、全体的なことを踏まえまして、今回、市長の見解でありますとか、政策的な判断、方針等を答弁するものについては市長の答弁、これまでと同様市長の答弁とし、個別具体的な細かい内容、こういったものについては各担当部長が答弁をすると、こういった考え方で変えさせていただければなというふうに考えているところでございます。

なお、一般質問につきましても、考え方としては同じでございます。

これまで、お一人の質問に対して、市長が1回答弁をするというのは今までと考え方は変わっておりませんが、その中でも先ほど申し上げましたような判断に基づいて、市長答弁と各担当部局長の答弁、こういったものを明確に役割分担をしていきたいと、そういったことで今定例会から変更させていただきたいというところで、お知らせをさせていただきたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○相馬委員長 分かりました。

今の総務部長の御意見について委員の皆様、了承するということでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

それでは、執行部におかれましては、そのような御対応をお願いいたします。

そのほかございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、委員から何かございますか。

山形委員。

○山形委員 確認なんですが、先ほどの会期日程の中に、例年ですと、昨年もなかったんですが、小中学校の卒業式とかいうふうなものもありましたが、今年も昨年同様なというふうなことで、この会期日程ということによろしいんですか。改めて確認なんです。

○相馬委員長 事務局、説明お願いしてもよろしいでしょうか。

課長。

○小平議事課長 卒業式なんですが、今回、当然、小学校、中学校、高校というところで卒業式は予定されてございます。

しかしながら、今回、卒業式におきましては、議員の皆様、今回もこういった状況でございますので、招待は控えさせていただきたいということでございますので、その分を日程を詰めさせていただいたところでございます。

以上です。

○相馬委員長 よろしいでしょうか。

○山形委員 はい。

○相馬委員長 ほかに委員の皆様から何かございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、次第(2)に入る前に執行部入替えのため、暫時休憩といたします。

休憩 午前10時48分

再開 午前10時50分

○相馬委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次第(2)議会基本条例第11条に基づく計画等についてを議題といたします。

議会基本条例第11条に関わる計画協定等について執行部から内容の説明をいただいた上で、議決または報告とするか決定いたします。

なお、協議案件については、執行部から報告として上がってきた案件について説明を求め、決定を見たいと思います。

本日は、企画部、市民生活部、気候変動対策局、総務部から4件の案件がございます。

まず、企画部の案件を協議いたします。

東京電力パワーグリッド株式会社とのゼロカーボンシティの実現及び地方創生の推進に関する包括連携協定を協議いたします。

執行部から説明をお願いします。

部長、お願いします。

○小出企画部長 よろしく申し上げます。

それでは、今、委員長からありました協定について御説明を申し上げます。

資料に基づきまして説明を申し上げたいと思います。

1番の協定の締結先でございますが、民間企業ということで、相手方は東京電力パワーグリッド株式会社の栃木北支社ということでございます。

協定の内容といたしましては、ゼロカーボンシティの実現、それから、地方創生等の実現と、大きく2項目の連携協力を図るものということでございます。防災・災害等の協定も含まれますけれども、大きくは地方創生というところでのくくりで考えてまいりたいと考えております。

それから、協定締結の目的及び背景でございますけれども、本市では、令和元年度にCO₂排出量実質ゼロ宣言を行うなど、ゼロカーボンシティを目指し、県と活動してきております。

本市と東京電力パワーグリッド株式会社とは、これまでも再生可能エネルギーの活用や防災、まちづくり等において連携した取組を行ってきたと

ころでございますけれども、さらなる連携体制を構築し、持続可能なまちづくりの実現を図るため、協定を結んでまいりたいということでございます。

市民等への効果及び影響でございますけれども、本協定を締結することによりまして、ゼロカーボンシティあるいは地方創生の推進など、様々な分野に係る連携を推進するということができるということです。

それから、5番の特記事項でございまして、今回の協定に係る費用負担はございません。

議会への対応及び理由でございますけれども、全員協議会での報告をさせていただきたいということで、報告時期については令和3年3月を予定させていただきたいということでございます。

理由といたしまして、本広域協定は、これまでと今後の連携について明文化したものでありまして、本市に大きな負荷が生じないため、議員全員協議会で報告させていただき、速やかに締結させていただきたいというところでございます。

協定の内容をゼロカーボンシティの実現といったところで、想定される事業でございますけれども、例えば環境エネルギーの出前講座といったところで、地域の子供などを対象にした環境問題あるいはエネルギーに関する教育の実施などを行いまして、CO₂の削減といったところの重要性などを普及啓発したいというところがございます。

それから、スマートライティング事業との連携ということで、既に本市でしております道路照明なんかを利用したスマートライティング事業につきまして、東電のノウハウを生かしまして、より効率的に効果的な事業として取り組んでまいりたいというところがございます。

また、それから、今後、新庁舎の建設ということも始まりますけれども、環境に配慮した新庁舎の建設といったところについて、東電のノウハウ

をいただきながら、ゼロカーボンシティの実現に寄与する庁舎を建設をしまいたいというようなところでございます。

そのほか様々な事業が想定されますけれども、詳細については、今後また詰めていきたいというところでございます。

以上説明でございます。よろしくお願いいたします。

○相馬委員長 説明が終わりました。

委員の皆様から質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、ここで議員間討議に入ります。

討議すべき点はございますでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 それでは、委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、ここで議員間討議と併せて質疑も終了したいと思います。最後にはほかに質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 質疑がないようですので、議員間討議及び質疑を終了したいと思います。異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、質疑を終了いたします。

それでは、案件の取扱いについてお諮りいたします。

本案件については、執行部提案のとおり報告とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、本案件については報告案件とすることに決しました。

ここで暫時休憩といたします。

10分間の休憩をしたいと思いますのでよろしく
お願いいたします。執行部の入替えもお願いいた
します。

それでは、暫時休憩とします。

休憩 午前10時54分

再開 午前11時04分

○相馬委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会
を再開いたします。

次に、市民生活部の案件について協議いたしま
す。

那須塩原市交通安全推進計画を協議いたします。

執行部から説明をお願いいたします。

市民生活部長。

○鹿野市民生活部長 それでは、那須塩原市交通安
全推進計画の策定について説明をさせていただきます。

この計画ですけれども、那須塩原市交通安全条
例、こちらに基づきまして交通安全の取組を市民
などに広く周知すること、また、那須塩原市交通
安全対策協議会、こちらのメンバーである団体等
をはじめといたしましての交通安全を推進する関
係者、これと市民が連携をして取り組むための指
針となる計画として策定をするものでございます。

計画は、毎年更新をしているものでございます。

計画の中身といたしましては、交通安全の推進
計画、目的ですけれども、こちら。それから、交
通事故の状況、それから、重点推進項目、そして、
具体的な取組、この4つの項目から構成をしてい
るところでございます。

昨年度からの変更点といたしましては、事故の
状況についてはもちろん、令和2年度の直近の状

況を掲載してございます。

重点項目として掲載しているものは、昨年度と
同様となっておりますけれども、自転車安全利
用の促進、こちらにつきましては自転車による事
故が多いこと、それから、令和2年度に市として
自転車の安全な利用の促進に関する条例、こちら
を制定したこともありまして、昨年度から重点項
目に追加したということでございます。

具体的な取組、こちらについても昨年までと同
様の取組としているところでございます。

最初に申し上げましたように、交通安全を推進
する関係者と市民が連携をして取り組むための指
針として、毎年度策定をしている計画ということ
ですから、昨年と同様に3月に予定しております
協議会の総会を経た後、4月の議員全員協議会に
報告することにより、対応をしたいというふうに
考えているものでございます。

簡単ですけれども、説明は以上となります。よ
ろしくお願いいたします。

○相馬委員長 説明が終わりました。

質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 それでは、ここで議員間討議に入り
たいと思いますが、討議すべき点はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようですので、それでは、委員
からの御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようですので、議員間討議及び
質疑を終了したいと思います。異議ございませ
んか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、質疑を終了い
たします。

それでは、案件の取扱いについてお諮りいたし

ます。

本案件について、執行部提出のとおり報告とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、本案件については報告案件とすることに決しました。

ここで執行部入替えのため、暫時休憩といたします。

休憩 午前11時06分

再開 午前11時07分

○相馬委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、気候変動対策局の案件について協議いたします。

株式会社ウェザーニューズとの協定を協議いたします。

執行部から説明をお願いいたします。

気候変動対策局長。

○黄木気候変動対策局長 資料に沿いまして説明いたします。

まず、協定の内容なんですけれども、気候変動の緩和策及び適応策の推進にすること及び気候変動影響及び対応策の普及啓発にすることなどを主とした内容としたいと考えております。

締結の目的及び背景でございますけれども、本市はCO₂排出量実質ゼロを宣言し、また、市町村レベルでは全国初となる気候変動適応センターを設置するなど、気候変動に関する先進的な取組を行っております。

このような中、世界最大の民間気象会社であります株式会社ウェザーニューズ様から、事業内容の説明や自治体との取組に関する御提案がござい

ました。

さらに、気候変動の適応を考える会というウェザーニューズ様が主催するセミナーへのお誘いを受けまして、昨年10月、環境省や内閣府、民間企業ですとイオンや竹中工務店様などとともに市もプレゼンターとして取組を発表するなど、情報公開や交流を続けて、今般、協定を締結したい旨の申出があったものでございます。

この申出に対しまして、両者が相互密接に連携し、気候変動に関する取組を推進すること、これは有意義であると判断したことから、協定を締結したいとすることといたしました。

市民等への効果なんですけれども、市には当然のことながら気候に関する専門知識を有する職員はおりません。同社の気象・気候に関する専門的知見を活用することで、市に適した取組を推進することができると考えております。

グローバル企業であります同社、これと協働で気候変動室の対策に取り組むことで、本市の積極的な姿勢を内外に広くPRできるものとも考えております。

特記事項としまして、協定事項の通常の連携については費用負担はございませんけれども、万が一実費を伴うような事業があった場合には、当然のことながら別途契約を行って取り組みたいと思います。

説明は以上です。

○相馬委員長 説明が終わりました。

委員の皆様から質疑はございますか。

鈴木委員。

○鈴木委員 協定については大方了解したところではあるんですけれども、この株式会社ウェザーニューズとのやり取りというのは、こういうZ o o mなのか、あちらに行くとか、どういう形で会議などをこれから進めていくのかをちょっと御説明

いただきたいと思います。

○相馬委員長 気候変動対策局長。

○黄木気候変動対策局長 これまでは、このようなコロナの状況ですから、一旦収束したときは直接相対でやっていたこともありますし、またウェブでもやっていました。

今後につきましても、コロナの状況を見ながら、相対でありましたり、ウェブを活用したりと、それは臨機応変に対応したいと考えております。

○相馬委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 了解しました。

それで、この会社ってかなり大きな会社だということで、ネットでもちょっと調べたんですけども、相手の担当者は何名ぐらいとこういった形で協議を進めている状況ですか。

○相馬委員長 局長。

○黄木気候変動対策局長 ちょっとすみません、役職名は忘れたんですけども、部長級の方、実はウェザーニューズって御存じのように気象を扱う会社なんですね。気象を扱う会社の中に、今回はこのような御時世で気候変動を扱う部門が、その担当部長さん及びそこで実測で測っている職員の方と協議をしております。

○相馬委員長 よろしいですか。

ほかに質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、ここで議員間討議に入ります。

討議すべき点はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようですので、議員間討議及び質疑を終了したいと思います。異議ございませ

んか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、質疑を終了いたします。

それでは、案件の取扱いについてお諮りいたします。

本案件について、執行部提案のとおり報告とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、本案件については報告案件とすることに決しました。

ここで執行部入替えのため、暫時休憩といたします。

休憩 午前11時12分

再開 午前11時13分

○相馬委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、総務部の案件について協議いたします。

災害発生時の支援協力に関する協定を協議いたします。

執行部から説明をお願いいたします。

総務部長。

○石塚総務部長 よろしく申し上げます。

それでは、資料の最後になりますけれども、御覧をいただければと思います。

災害発生時の支援協力につきましては、これまでに10の団体と協定を締結しているところでございます。直近では、昨年7月にコメリさんのほうと協定を締結をさせていただいているところで記憶にあるかと思います。

今回、那須塩原市商工会、西那須野商工会、それぞれから災害発生時の支援協力に関する協定締

結について申入れがございましたので、締結をしようとするものでございます。

本締結によりまして、災害発生時に市内商工会加入事業者から速やかな物資供給が可能となり、災害の応急復旧対策が円滑にできるというふうに考えているところでございます。

なお、資料にもございますように、市の要請によって商工会が物資を供給した場合、その際の経費につきましては市の負担となるとところでございます。

本件は、これまでの災害支援協定と同様の内容、大まか同様の内容ということでございまして、本協定につきましても、今後速やかに執行させていただき、議員全員協議会での報告とさせていただければというふうに考えているところでございますので、お取扱いのほうをよろしくお願いを申し上げます。

雑駁な説明ですが、以上でございます。

○相馬委員長 説明が終わりました。

委員の皆様から質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 それでは、ここで議員間討議に入ります。

討議すべき点はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、委員の皆様からの御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 なければ、ここで議員間討議と併せて質疑も終了したいと思います、異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、質疑を終了いたします。

それでは、案件の取扱いについてお諮りいたし

ます。

本案件について、執行部提案のとおり報告とすることで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、本案件については報告案件とすることに決しました。

以上で(2)議会基本条例第11条に基づく計画等について終了いたします。

その他として執行部から何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○相馬委員長 委員から執行部に対して何かございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 それでは、ないようですので、この後、議会側の案件に入りますので、執行部におかれましては、ここで退席をお願いいたします。

大変お疲れさまでございました。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時17分

再開 午前11時17分

○相馬委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次第(3)令和3年度議会取組実行計画についてに入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

係長。

○佐々木議事調査係長 それでは、私から説明を申し上げます。

こちら取組実行計画に関する資料を用意してございます。こちらは前回御説明をさせていただいた内容に基づきまして、4会派から意見の提出をいただきましたので、それを一覽にまとめたもの

でございます。

取組ナンバー1から取組ナンバー19まで、それぞれ掲載してございまして、さらにもう一点、取組ナンバー20といたしまして追加の提案が1件ございました。

それぞれ会派名の欄に、それぞれの会派からいただいた意見を掲載してございます。

なお、敬清会につきましては全て空欄となっておりますが、特に全てについて意見がなしということでしたので、御意見はいただいておりますが、欄としては空欄となっております。

説明につきましては以上です。

○相馬委員長 説明が終わりました。

それでは、取組ナンバー1から順に協議したいというふうに思います。

まず、取組ナンバー1についてです。

市民アンケート等の実施ということで17条関係ということになってございまして、アウトプット①が市民アンケートの実施、②が傍聴アンケートの実施、③が議会モニターアンケートの実施というところでございます。

これについて、那須塩原クラブ、それから公明クラブから、このような意見が出てございますが、これについて委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 那須塩原クラブからは、アンケートの実施する目的と必要性を明確にして実施することが重要であるということで、これまでの市民アンケートの検証と今後の内容、手法の検討、実施に変更して、市民の声を議会に届ける仕組みを整理することということでございます。

これについては、①について、市民アンケートの実施ではなく、これまでのアンケートの方法ではなく、これまで行ったアンケートの検証が行わ

れていないということから、①についてはアンケートの検証を行うことを実施するという目標だということでございますが、皆さんいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 よろしいですか。

ありがとうございます。

そうすると、来年度アンケートの実施というところではなく、これまで行ったアンケートの検証を行うということに変更させていただきまして、目標値を実施ということでございます。

それから、公明クラブさんから、各種団体へのアンケートの実施というのが④に追加してはという意見でございますが、これについてはいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ④として、各種団体へのアンケートの実施ということを盛り込むということでよろしいでしょうか。

委員の皆様から御意見をいただければと思います。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 これについて、各種団体等、その趣旨等を田村委員のほうから御説明いただければと思いますが、いかがでしょうか。

○田村委員 やはり幅広い方からアンケートをするべきだということで、市民であったり、傍聴者、議会モニターだけでは幅広い民意が集約できないということで、様々な各種団体があるかと思いますけれども、そういったところからも聴取をしたほうが良いということで付け加えてはどうかということでございます。

○相馬委員長 公明クラブさんからの説明でございます。

これについて委員の皆様から御意見はございま

すか。

中里委員。

○中里委員 田村委員にちょっとお伺いしたいんですけれども、各種団体というのは例えばどのようなところを想定しているのか伺いたいと思います。

○相馬委員長 田村委員。

○田村委員 様々あると思うんですけれども、例えばですけども、自治会の役員の方であったり、もしくはそういった関係者、例えば福祉関係者であったり、あとは学校関係者であったり、そうしたPTAだったりとか、そういった様々な団体で、特にここということではないんですけれども、それは、そんな感じですね。いろんな該当する団体はあるかと思いますが、特に特定はしてはいません。

○相馬委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 各常任委員会でも、例えば建設経済などは農協とかそういったところに特化してアンケートを取ったりしていると思うんです。

いい悪いではないんですけれども、その市民アンケートの実施という広い中で、そういう今名称が挙がったようなところに聞けばよくて、改めて各種団体ということ盛り込まなくても、それを含んだということではいかなんかなんていうふうにちょっと感じました。

以上です。

○相馬委員長 田村委員、いかがでしょうか。

○田村委員 現実的に今までは特にそういう形ではしていなかったと思うんですが、そういう意味で付け加えてもいいんじゃないかということですけども。

○相馬委員長 鈴木委員のお話については、①の市民アンケートについては、先ほど那須塩原クラブの説明に対して、市民アンケートを行うのではなく、これまで行った検証がまだされていないので、

まず検証を行うということを実施にしたいということで、市民アンケートの実施というのは、これまでした市民アンケートの検証を実施というふうに、先ほど変更するというで皆さんに御理解いただいたところだろうと思います。

公明クラブさんからは、それとは別に、各種団体のアンケートの実施をしてはという意見でございますので、今の市民アンケートを実施しているのではということではございますが、先ほど①については、令和3年度については、実施はしないで、これまでに行ったアンケートの内容を検証していくということを実施というふうにさせていただいたところですので、さらに④番について、公明クラブさんから各種団体へアンケートしてはという意見だと思いますが、そういうことでいかがでしょうか。

そういう意見でよろしんでしょうか、田村委員。

それについて鈴木委員、よろしいですか。

○鈴木委員 あまりこだわることはないんですけれども、やりたいということがあるのであれば、アンケートの実施もよろしいかと思うんですけれども、今までの検証をきちんとまずやってからの順番でという、那須塩原クラブの考えに私は近いかなと思います。

以上です。

○相馬委員長 これまでの議会アンケートの検証というのは、市民の要望を聞くアンケートということではなかったはずなんです、だんだん市民の要望を聞くような内容も大分入ってきたと、そのアンケートの検証をまず行った上で、今後さらにどういうアンケートにしていくかということ、まず実施していく必要があるだろうということだったので、また、さらにここで各種団体のアンケートを実施した場合、いわゆる議会改革についてのアンケートを議会運営委員会としては行っ

ていたところでございますので、もし各種団体等のアンケートを実施ということであれば、議会運営委員会ではなく、例えば各常任委員会ですとか、そういったところの取組として行っていくほうがいいのではないかなというふうには思いますが、田村委員、いかがでしょうか。

○田村委員 そういうことであれば構いません。意義を変えるわけですから。いいです。

○相馬委員長 それでは、取組ナンバー1についてはそういったところでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

続きまして、取組ナンバー2の参考人、公聴会制度の活用についてということございまして、那須塩原クラブからは取組ナンバー7と重複しているため、この2の項目については削除するという意見でございます。

それから、志絆の会さんからは請願・陳情に参考人制度はなじまないという御意見でございますが、これについて皆さんの御意見はいかがでしょうか。

眞壁委員。

○眞壁委員 志絆の会でちょっとなじまないということなんですけれども、内容的にはこの2のほうの請願・陳情の提出者の参考人招致という形が入っているんですけれども、参考人招致という形よりはやはり意向の説明を受けるというのがまず第一かなと思って、この目標値50%以上というのがちょっと私はあまりどうなのかなと思って、それは入れてあります、内容的には。これはどうでしょうか。

○相馬委員長 すみません、その前に取組ナンバー7と重複しているのので、この項目自体を削除してはという那須塩原クラブの意見でございますが、皆さんいかがでしょうか。

眞壁委員。

○眞壁委員 それは私のほうも同じだと思うんで、削除したのがいいと思います。どっちかに合わせればいいかなと思います。

○相馬委員長 はい、分かりました。

ほかに御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 なければ、取組ナンバー2については削除をしてということで異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○相馬委員長 分かりました。それでは、取組ナンバー2については計画から削除いたします。

続きまして、取組ナンバー3、議員研修の実施についてということになります。

これについて、那須塩原クラブからは外部研修、内部研修の実施についてということで、目標を実施にして、アウトプットのほうに参考回数として5回と入れてはいいのではないかという意見でございます。

それから、志絆の会からも回数の目標は要らないという意見でございますが、委員の皆様から意見はございますか。

鈴木委員。

○鈴木委員 考え方としてなんですけれども、予算はそんなにからないのかも、内部研修だったりしてからないかもしれませんけれども、確かに5回という回数はおおむね入れるというのは、考え方はいいと思うんですけれども、5回やらなかったからよくないとか、1回とか2回でいいとかということではなくて、やっぱり必要に応じてやりたいという皆さんの思いがあって回数が決まったほうがいいと思うので。

この5回の意味なんですけれども、目標値としてこれを達成したからよかったとか、しないから5回というのがよかったとかということではない

ということの理解であれば、まあ5回ぐらいはやってみましょうと、そういうニュアンスでの5回であればいいなと思っている5回なんですけれども。

要するに、改めて5回やらなければいけないという決めつけではないほうがいいんじゃないかということです。ただ、5回というのは5回ぐらい検討したらいいんじゃないかという考え方です。

○相馬委員長 ありがとうございます。

那須塩原クラブの意見も同様に目標値に5回と入れておくと、検証するときの評価が物すごく落ちるというのが、これまでの結果があったものですから。

ただし、外部研修については2回分ということで毎年70万円の予算をいただいているところ。それから、内部研修についてもこれまで行ってきたところで、年度によってですが、一番多い年で10回研修を行った年もございます。それから、昨年度の目標は7回であったということもあって、一応回数として入れてみたんですが、各会派からの意見としましては、目標値は実施ということで、アウトプットのほうに参考として5回というふうに盛り込めば、目標値に回数を入れなくてもいいんじゃないかという意見でございました。

鈴木委員の意見も同様かというふうに思いますので、そのような取扱でいかがでしょうか。

○鈴木委員 いいです。

○相馬委員長 ありがとうございます。

それでは、アウトプットのほうに参考回数として5回というふうに入れさせていただきまして、目標値は実施というふうに変更するというように進めさせていただきたいと思います。

よろしいですか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 では、続きまして、取組ナンバー4、

大学等々のパートナーシップの推進というところに入ります。

各会派からの意見につきましては、那須塩原クラブからは「大学生」から「大学生等」に変更して、目標値は実施にする。これは今後全て検討という文字を目標値に入れるのではなくて、もうアウトプットのほうに検討と入れているので、全部実施に変更してはというような意見でございます。

それから、公明クラブさんからは県内の複数の大学との連携を③に盛り込んでということだろうと思いますが、これについて皆さんから御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ございませんか。

なければ、那須塩原クラブから②のところで、「大学生」から「大学生等」に変更して、目標値を実施にするということで、②についてはよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

続いて、③に県内複数の大学と当連携を検討ということを盛り込んでという意見でございますが、これについてはいかがでしょうか。

中里委員。

○中里委員 ③に県内の複数の大学との連携を検討というふうな項目を付け加えてしまうと、検討しなければ目標値が達成されないということになってしまうというふうに思うんです。

ただ大切なのは、パートナーシップの大切なところは、目的だったり必要性をもってパートナーシップを結ぶことが大切でありますので、目的、それから必要性も明確でないまま県内の複数の大学との連携を検討するというのは、ちょっとそぐわないのではないかなというふうに、私は個人的に思いました。

以上です。

○相馬委員長 中里委員からの意見はそういうことだろうと思いますが、これについて、田村委員、再度説明をお願いしてもよろしいでしょうか。

○田村委員 県内には、当然いろんな特色を備えた大学がたくさんありますので、そういう意味では、やはり宇都宮大学はもちろんそうなんでしょうけれども、それ以外の大学、そういうところと連携する必要があるかと思うんですね。やはりそういったいろんな知見を活用するということであれば、そういう幅広い大学からの連携、これが必要だと思いますので、まあ、そんな趣旨でございます。

○相馬委員長 ありがとうございます。

今年度、大学等とのパートナーシップのガイドラインというものを策定してございます。このガイドラインからしますと、様々な大学及び大学以外のところ、例えば企業だったりとか、そういったところともパートナーシップを結んでいけるようなガイドラインを作成したんだろうと思います。

そういったところからも、県内とは限らず、今後も様々なそういったパートナーシップを検討していくことは必要だろうというふうには、そのガイドラインの目的からしますと必要であろうというふうには思いますが、この③番にこういった内容で追加することについて、再度皆さんから御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

鈴木委員。

○鈴木委員 様々な大学と意見を交わすことは大切だとは思いますが、ただ、今の段階で中里委員とやっぱり似ているんですけども、きちんとした考えを持ってからのほうがいいんじゃないかと。

それから、様々な大学と連絡を取ったりするのは、事務的にもかなり時間とか労力を要しますので、やはりもうちょっとこう、まだ、今やってい

ることをきちんとしてから、必要なことだということになって③に入っていくというほうがいいのかなと思うので。

今の段階で言えばですよ。今後は田村委員のおっしゃるとおりだということは前提なんですけれども、今の段階ではまだ改めて、次年度の計画ですから、入っていなくてもいいのかなというふうには私は感じます。

以上です。

○相馬委員長 はい、分かりました。

令和3年度については、この①、②をまず実施してということなんだろうというふうに思いますが、田村委員いかがでしょうか。

○田村委員 そういうことであれば、結構です。それで構いません。

○相馬委員長 そうすると、先ほど②については、那須塩原クラブの意見のとおり変更させていただいて、この①、②を実施して、アウトカムを図っていくという、そういう項目とすることによってよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

それでは、取組ナンバー4については以上とさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー5についてでございます。これについては、那須塩原クラブ、公明クラブ、それから敬清会から意見はございません。志絆の会からは次年度の取組計画の策定は検討するというところでございますが、これについて御説明をお願いしてもよろしいでしょうか。

眞壁委員。

○眞壁委員 6の外部のシンクタンク等の連携した議会の評価について、これが来年度、これは実施するのかどうかなんですけれども、これをやるとなると、この取組実行計画についてはどうなのか

なというところがあって、ちょっとそういう形で検討という形にしたんですが、この辺、ちょっとよく私、内容が分からないので、もし分かる方がいたら教えていただきたいです。

○相馬委員長 はい、分かりました。

シンクタンクについては事務事業評価になりますので、これまでは議会運営委員会で行ってきたところを、外部シンクタンクというのは想定しているのは日本生産性本部というところで、今年度からほんの少し触れさせていただいているところでございますが、それは取組ナンバー6の事務事業評価について、そういうふうなことでございます。

それで、取組実行計画については当然これまでもつくってきました。来年度についてもこの取組ナンバー5を入れておくことで、さらに再来年度、次年度ですね。その次の年度の取組実行計画を策定していきましょうということでございます。

なので、この項目をこの内容で計画策定ということで、当然策定というのが目標値ということになります。そういうことでいかがでしょうか。

眞壁委員、よろしいですか。

○眞壁委員 はい。

○相馬委員長 じゃ、取組ナンバー5については、ほかに御意見がなければ、このような内容にさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

はい、ありがとうございます。

じゃ、続きまして、取組ナンバー6に入ります。

これについて、那須塩原クラブは意見がなしということで、公明クラブさんから「まちづくりの発展」を「市民福祉の向上」ということでございますが、これについてちょっと説明いただいてもよろしいでしょうか。

田村委員。

○田村委員 これはちょっとこの文章に違和感を感じたものですから、まちづくりの発展というよりは、やはり本来の目的である市民福祉の向上のほうがいいのではないかとということでございます。

○相馬委員長 アウトカムというところですね。

○田村委員 はい。

○相馬委員長 はい、分かりました。

これについてほかの委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、今、田村委員が御説明のとおり、「議会の自己評価に基づく改善を通じた市民福祉の向上」というふうに出トカムの文言を変更するということでございます。

そういったことでよろしいですか。皆さん、よろしいですか。

はい、じゃ、そのように変更させていただきます。

続いて、事務事業評価は検討となっておりますが、志絆の会のこれについて御説明いただければと思いますが、いかがでしょうか。

眞壁委員、お願いいたします。

○眞壁委員 先ほどの件と一緒にですので、これは検討を外してください。結構です。

○相馬委員長 分かりました。ありがとうございます。

それでは、取組ナンバー6については、そのような変更ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

なければ、そのようにさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー7になります。

陳情・請願に関わる意見聴取の実施ということで、那須塩原クラブからは、これも目標値を実施に変更するということです。それから、ガイドラ

イン作成等も検討というふうに書いてありますので、これについては実施にするという変更でございます。要は、提出者の50%以上という目標値を実施というふうに変更するということでございます。

続いて、志絆の会さんからただ検討というふうに書いてございますが、これも説明を伺ってもよろしいでしょうか。

眞壁委員。

○眞壁委員 これも先ほどの目標値の提出者の50%以上、これが意見の聴取なので、ちょっとなじまないのかなというような気がするんで、先ほど実施という話なので、実施だけでいいのかなと思います。

○相馬委員長 分かりました。

それでは、目標値のところを実施にするというところと、さらに那須塩原クラブから「請願・陳情の提出者からの意見聴取の必要性を検討し、実施」というふうに、その「必要性を検討し」というのを加えるというふうなところでございますが、それについては委員の皆様から意見はいかがでしょうか。このとおりでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 大丈夫ですか。じゃ、そのように変更をさせていただきます。

取組ナンバー7についてはほかに意見がございませんので、これでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

続きまして、取組ナンバー8になります。

臨時会の開催に関する運用の整備ということでございます。これにつきましては那須塩原クラブからは、臨時会の開催に関わる執行部協議及び運用に関する検討については、目標値を実施に変更するというところでございます。

これについては御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 続いて、公明クラブからは、市民課題、市政課題に変更というふうになっておりますが、これはどの部分を変更するのか、御説明をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

田村委員。

○田村委員 アウトカムのところですね。アウトカムの「機能的な臨時会議の開催による市民課題の」という市民課題がちょっと違和感があるかなと思ったので、市政課題のほうがいいんじゃないかというふうに思ったということです。

○相馬委員長 分かりました。

それでは、まず①について、那須塩原クラブからこのように変更したい、変更してはという意見ですが、これについては意見はいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 なければ、①についてこのように変更するというところでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

では、続いてアウトカムについては、市民課題というのを市政課題に変更してはという意見でございますが、これについては御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 なければ、このように変更するというところでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、取組ナンバー8についてはそのようにさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー9についてでございますが、これについても那須塩原クラブから、アウトプットの①について、「報告会の在り方、運営に関する検討」について、「議会報告会の運営

に関する検討」に変更して、目標値を実施に変更するということの意見でございますが、ほかはないようでございますが、これについて委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、那須塩原クラブの御意見のとおり変更するということによろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、取組ナンバー9についてはそのように変更させていただきます。

続きまして、取組ナンバー10、オンライン会議の推進についてでございます。これについても那須塩原クラブからアウトプットに「②条例追加の検討」を加え、目標値を実施とするということでございます。

これについては、議会基本条例にオンライン会議等の条項がないものだったので、今後、議会基本条例にオンライン会議等の条例追加を検討してはいかがかという意見でございました。これについて、委員の皆様から御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 御意見がないようでしたら、②としまして、条例追加の検討と加えまして、目標値を実施とすることでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、そのように変更させていただきます。

続きまして、取組ナンバー11についてでございますが、アウトプットの③、那須塩原クラブの意見としまして、委員会中の実施など発信媒体の多様化の検討についてと、目標値を実施に変更というだけです。

あと、公明クラブは議会の公開による透明性の確保に変更というふうになっておりますが、那須塩原クラブの意見については、目標値の検討、実施というのを、ただ単にアウトプットに検討というふうになっているので、実施だけにするという意見でございますが、これについてはそういうことでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい。

続いて、議会の公開による透明性の確保に変更ということでございますが、これについて意見をお願いいたします。

鈴木委員。

○鈴木委員 手を挙げて話が進んじゃって、戻すように申し訳ないんですけども、11のところの③の検討、実施という言葉があるんですけども、検討の実施という言葉の確認をさせていただきたいんですけども、検討を実施する。その前にアウトプットの左側の横長のところに、検討と書いてあって、目標値を実施するというふうにすると、検討を実施する。

○相馬委員長 そうでございます。

○鈴木委員 目標値だけを見ると、検討を実施だとすると、本当は言葉でいうと実施か検討でいいんだと思うんだけど、この言葉の使い方があまりよく分からないので、そこだけちょっと気になっているんですよ、さっきから。

○相馬委員長 ありがとうございます。

取組ナンバー2のところから申し上げているところでございますが、「検討、実施」というふうに記載されているものは、那須塩原クラブとしては、全て「実施」に、ただ単に、検討はアウトプットに載っているの、目標値には実施だけの記載にしたほうがいいんじゃないかという意見があったということでございます。

それなので、那須塩原クラブの検討、実施というのはダブっているの、実施だけでいいんじゃないかという意見でございます。

今、鈴木委員のお話も実施だけでいいということですよ。

○鈴木委員 それだと分かるんですよ。何か分かりづらい日本語だなと思って、表現だと思いました。

以上です。分かりました。大変失礼しました。

○相馬委員長 そうなんです。

最初の記載のところが、こういうふうに記載しているのがたくさんあったので、この検討、実施と記載されているものについては全て、ただ単に実施に変更していきたいというところでございます。

それでは、公明クラブさんのほうの意見について説明をお願いしたいと思いますが、田村委員いかがでしょうか。

○田村委員 アウトカムのところですけども、議事の公開による民主制の機能確保という、この文言がやはりちょっとしっくりこないというか、それであれば「透明性の確保」のほうがより会議等の公開についてはふさわしいアウトカムになるのではないかというふうに思います。

○相馬委員長 ありがとうございます。

今、田村委員の公明クラブの説明について、委員の皆様から意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、アウトカムの部分ですね。アウトカムのAの部分で議会の公開による透明性の確保というふうに変更するというところでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、分かりました。

じゃ、そのように変更させていただきます。
続きまして、取組ナンバー12でございますが、

政策形成サイクルの活用ということでございます。

これについても、那須塩原クラブは②の部分の検討、実施をただの実施にということでございます。それからアウトカムの部分を「政策提案の実現による市民福祉の向上」に変更してはという意見でございます。

それから、公明クラブさんからは、「3人以上の有志議員による政策提案の実現」に変更ということでございます。

それから、志絆の会さんからは、目標件数の必要はないというところでございます。

これはどっちから行きますか。そうすると、志絆の会さんの目標件数は必要ないということについて説明いただければと思いますが、いかがでしょうか。

○眞壁委員 ①の政策形成サイクルを活用した政策の検討ということで、1件以上ということで、ちょっとよくこの意味が分からないんですけども、どういうことなんでしょうか。

○相馬委員長 政策形成サイクルを活用した政策というのは、政策形成サイクルというのは政策研究会及び会派、それから議員個人からの提案によって、政策調整会議を開いて、政策検討委員会分科会というふうにして、実際の議会活動、いわゆる議員活動から議会活動とするための検討と、そういった政策の検討ということで、1件以上ということで目標値をしたところでございます。

分かりにくいですか。

○眞壁委員 ちょっと分かりづらいんですけども。

○相馬委員長 政策形成サイクルというのは、いわゆる様々な政策課題に対する検討を、各政策研究会なり会派なり、それから議員個人として持っているものを、いわゆるそれはあくまでも議員活動、そこからその課題を議会活動にするための政策調整会議に諮って、政策検討委員会分科会というふ

うに認められて初めて議会活動というふうになっていくわけですが、そのサイクルを利用した政策を検討するということでございます。

その政策検討委員会なり会派なりから、そういった政策調整会議に対して提案をするということをして1件というふうにしたというところでございますが、いかがでしょうか。

○眞壁委員 内容的には分かりました。それを、意見書を出していくんだという目標値ということですね。

○相馬委員長 はい。

○眞壁委員 了解です。

○相馬委員長 分かりました。

続いて、那須塩原クラブの先ほどの検討、実施をただ実施にすることについては、皆さん、よろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

もう一つ、アウトカムに政策提案の実施による市民福祉の向上というふうに、アウトカムの文言の変更という意見でございますが、これについてはいかがでしょう。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 アウトカムをそうした文言に変更するというところでよろしいですか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

じゃ、それで最後になりますが、「3人以上の有志議員による政策提案の実現」に変更というのは、これはどの部分でしょうか。田村委員、御説明をお願いします。

○田村委員 これもアウトカムの部分ですけども、そこに記載されている「市民の代表者である議員で構成する議会による」というのは非常に分かりづらいので、その部分を具体的に「3人以上の有

志議員による」に変えているんですけども。

当然、だからその後の政策提案の実現による市民福祉の向上には、してもいいんじゃないかと思うんですけども、その前段の部分の分かりづらさを具体的に書いたということです。

○相馬委員長 今の田村委員の説明について、委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、今の田村委員の説明のとおり「3人以上の有志議員による政策提案の実現」により、那須塩原クラブの意見のように「市民福祉の向上」というふうに変更することによってよろしいですか。

〔「委員長」と言う人あり〕

○相馬委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 すみません。田村さんに、またせっかくの提言なんですけれども、もともと政策形成サイクルは一人でやらない、議会でやろうということで始まったものだと思うんですよね。そのせったく作り上げたもので、先ほど1件以上というのは取りあえずせったく必要だと思ってつくったわけだから、1件以上出してみようということだと思うんですよ。

それで、3人以上ということはなくても、議会で議長名で出すような形になるので、十分3人以上ということは、この政策提言をされるということは生かされていると思うんで、別にここに「3人以上」という言葉は、ある意味では5人だったり、発議者があったりするので。

この政策形成サイクルの活用という点においては、ここで記載というか明示しなくてもよろしいんじゃないかと思うんですけども。私はそう思います。

福祉の向上については、そのとおりで構いません。私は構いません。

以上です。

○相馬委員長 分かりました。

確かに政策形成サイクルの政策検討委員会自体がもう3人以上というふうになってございますので、改めてここに「3人以上」というふうに書くなくてもという意見だろうと思いますが、田村委員、いかがでしょうか。

○田村委員 もちろんそれは構いません。分かりやすいほうがいいかなと思って「3人以上」をつけただけなので、削除しても全然構わないです。

○相馬委員長 それでは、有志議員による政策提案の……。

要らないね。そうすると、その前段の議員で構成する議会というところも、もう構成するまでもなくて、「議会による政策提言の実現による市民福祉の向上」というだけで、ということで大丈夫でしょうか。

○田村委員 それでもいいですよ。

○相馬委員長 よろしいですか。

○田村委員 ええ。

○相馬委員長 よろしいですか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、じゃ、そのように変更させていただきます。取組ナンバー12については以上とさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー13についてでございます。

これについては、緊急質問の取扱に関する規定の整備ということになってございまして、那須塩原クラブからは来年度1年かけて検討するのではなく、通年議会の臨時会と合わせて、現年度から検討する必要があるため、来年度の実行計画からは削除するという意見でございました。これについて皆さんから意見を伺えればと思いますが、いかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 よろしいですか。

緊急質問の取扱については、この来年度の取組実行計画ではなく、もう今年度から検討する必要があるのではないかということで、削除するということがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○相馬委員長 じゃ、そのようにさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー14に入ります。

代表者質問、市政一般質問の在り方ということでございますが、那須塩原クラブから①、②の項目については、これも先ほどと一緒にです。実施に変更ということでございます。それから、アウトプットについて、「さらに分かりやすくするための手法を検討」を加えるということについては、これは③に加えるということでしたか。

大変失礼しました。これはアウトプットと書いてありますが、アウトカムです。アウトカムに、さらに分かりやすくするための手法を検討するということを追加してはという意見でございました。

それから、志絆の会からは、この項目は必要はない、現状でよいというところでございますが、委員の皆様から意見はいかがでしょうか。

これについては、まず、①については、一般質問の在り方というところで、在り方ということで会派の構成人数を踏まえた公平な一般質問の在り方の検討ということになってございます。時間割りをいわゆる会派制にしてはということも含めて、今後の検討課題であろうということで、検討をしてはどうかということで、検討するということとでございました。

それから、重複質問の解消に向けた先進事例の調査、検討というのは、これまでの議会モニターからの意見で、非常に質問の重複に関する解消は

できないのかということが意見として多かったものですから、①、②というふうに在り方についての検討というふうにしたところでございますが、御意見はございますか。

眞壁委員。

○眞壁委員 私たちの会派では現状でいいということで、会派の人数に合わせて代表質問なり一般質問の時間を変えるというのは、地方議会に関してはちょっとあまり当てはまらないような気がしたので、現状でいいという形にしてあります。

あと重複のほうの質問の関係ですが、そちらについても、やはり議員の意見、それぞれあると思うので、こういう検討をしていいのかどうかというのは、ちょっと私としてはやはり我々議員としては一人一人のちゃんと意見を持っていますので、そういう形があるので、検討する必要はないのかなということで、こういうことを入れてあります。

以上です。

○相馬委員長 検討する必要はないという御意見でございますが、現状、今年度から導入しました議会モニター制度でのモニターさんからの意見については、大分先日もあったと思いますので、それについては、今後検討しないということについてはなかなか難しいのかなというところもございます。

会派の構成人数を踏まえたというところについても、そういうふうな事例があるというふうには聞いてございますので、検討した結果、どういう導入されるかということについてはあれですが、こういうふうな意見がある以上は、議会運営委員会として今後検討課題としては検討していったということなんでしょうと思います。

その検討結果についてはもちろんどうなるかわからないということではありますが、課題としてはこういうふうなことで取組と、課題に対する取組

ということで実行計画に入れてはいかがかということでございます。

これについて意見を再度伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

眞壁委員。

○眞壁委員 検討をするということは了解したいと思いますが、なるべく議員のほうで、何ていうか、不利にならないような形のやはり検討も必要かなと思いますので、検討することに対してはいいと思います。ただ、このやり方、検討する内容とかも、しっかりどういう内容をするかというのをやはりやっていかないと、どんどん議員のほうに不利になる可能性もありますので、そのへんだけぜひ注意していただければと思います。

以上です。

○相馬委員長 分かりました。

課題等として出ているところでございますので、先進事例等をまず調査及び検討をしていきたいという内容だろうと思いますので、そういったことで目標値を、検討をまた外させていただいて、ただ単に実施とするということでよろしいでしょうか。皆さん、よろしいですか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

じゃ、14についてはそのようにさせていただきます。

〔何事か言う人あり〕

○相馬委員長 失礼しました。ごめんなさい。取組ナンバー14については、那須塩原クラブの最初の「さらに分かりやすくするための手法を検討」というのは、③に追加という意見でございましたので、③にその代表質問、一般質問について市民に分かりやすい手法を検討するということを加えてはということでございますが、いかがでしょうか。

〔「委員長、ちょっと補足をさせていただきます

い」と言う人あり]

○相馬委員長 中里委員。

○中里委員 すみません。ちょっと補足なんですけれども、さらに分かりやすくするための手法の検討というのは、例えば、ほかの議会では画面を使ってそこにパワーポイントを投影させて、図だったりとか、そういったものを投影させながら一般質問を行っている議会があります。プロジェクターだったり、いろいろなそういったことも含めて検討してみてもどうかという意見でございます。

以上です。

○相馬委員長 ありがとうございます。

今、中里委員の説明のとおりですが、③にこれを追加してはということでございますが、皆さん、いかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、③としてこの項目を追加させていただいて、14については以上とさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー15、政務活動費の見直しというところでございます。

これについては、使途基準の見直しというところでございます。これについては、これまで会派に支給しているものを、会派で全員の了解を得られないとその使途が決定できないというところもございまして、こういった意見が出てきたところでございます。

なので、会派にこのぐらいで個人にこのぐらいというようなことが、使途基準というのが認められないかというようなことでございましたので、そういった使途基準の見直し。それから②としましては、支出実績に基づく事後支給方式の検討。実績に基づいて、後からの支給もどうかということを検討していくという、いわゆる政務活動費の

使途の見直しということ、それから支給の仕方、それから使途の見直しということを検討していくという内容でございます。

これについて、那須塩原クラブのほうの意見としては、検討を外して、これも実施にすると。

それから、志絆の会さんからは、この項目は必要ない、現状でよいという意見でございます。これについて、再度委員の皆様から御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

鈴木委員。

○鈴木委員 すみません、代表のほうで書いた項目があるんですけれども、会計を私は長年やってきましたので、検討は実施するべきだと思います。

ただ、今、委員長が話をした内容についてはここに書いていなかったことなので、それは今初めて聞いた。項目については、その検討の中でやっていただきたいとは思いますが、イヤホンの今回の買い方についてもありますし、先ほどの課題みたいなこともあると思うので、きちんとそれは洗い出して今の皆さんの考え方に沿うような形にすることについては検討するべきだと思います。

以上です。

○相馬委員長 分かりました。

ほかに御意見ございますか。

眞壁委員。

○眞壁委員 検討するのは私もいいと思いますが、やはり使いやすいような形というのをしっかり検討していただければいいのかなと思います。わざわざ首を絞めるような検討はしなくて、そんな形でやっていただければよろしいと思います。

以上です。

○相馬委員長 現状、那須塩原クラブからの意見としては、非常にこう11人の全部の意見がそろわないと使途ができないと。例えば半分の6人だけで

この研修を受けたいとかとなった場合に、全員が了解しないと受けられないとかというようなこともございまして、そういったところの、もうちょっと機動性が、もちろん倫理的に違反するようなことではないので、その運用がもうちょっと機動的に、機動性の上がるような使い方ができるような運用の見直しということでございますので、こういうふうな項目を入れさせていただいたところでございます。

それでは、今、皆さんから御了解を得たところですので、目標値を検討を実施するというのを実施に変更して、この項目は以上とすることによってよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

じゃ、15については以上になります。

続きまして、16、団体等への傍聴案内の検討というところでございます。

これも7条、傍聴の拡大というところでございますが、那須塩原クラブの意見としましては、アウトプットに団体等への傍聴案内の作成検討に変更し、目標を実施に変更すると。

内容が分からないということだったですかね。

これについても、モニター意見の中に、何回かございまして、どうしても傍聴人が少ないというモニターさんの意見から、様々な市内の団体にその傍聴案内を出してはいかがかということで、傍聴案内の作成を検討するというところでございます。

ただし、那須塩原クラブからは議案、質問等に関する団体というふうにするのはいかがかということで、「議案、質問等に関連する」というのは省いて、「団体等への傍聴案内の作成を検討する」ということでいかがかという意見だったと思います。

これについて、委員の皆様からの意見はいかが

でしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、今、那須塩原クラブから提案があった、アウトプットの①の部分で、「議案、質問等に関連する」を省いて、「団体等への傍聴案内の作成を検討」というふうにすることでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

じゃ、そのように変更させていただきまして、16については以上でございます。

続きまして、17、モニター制度の活性化というところで、これについては公明クラブから④に「研修の実施」という項目を追加ということになるんだろうと思いますが、これについて田村委員から説明をお願いします。

○田村委員 モニターさんはやはり意識が高い方が多いかと思うんで、より理解を深めていただくために何か、具体的に何ということはあれですけども、様々なものが考えられますが、そういったモニターさんの理解を深めていただくような研修を実施したらいかがかと思ひまして、④に付け加えてはいかがかと思ひます。

○相馬委員長 分かりました。

これについて委員の皆様から御意見はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、今、田村委員説明のとおり、④にモニター研修の実施を盛り込んで、目標値は実施ということでいいんでしょうか、田村委員。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、分かりました。

じゃ、モニター研修の実施ということで、目標値も実施とするというのを追加するというところで

皆さん、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

では、17についてはそのようにさせていただきます。

続きまして、取組ナンバー18、議場における服装、その他携行品に関する検討ということでございます。

これについては現在も議場についての服装等の規定はございます。ただし、その規定等に、例えばバッグなんかは本来、今の規定ですとバッグは持って入ってはいけないような規定になってございます。しかしながら、タブレットを導入したところ、皆さん、手提げのバッグ等は当然、タブレットが入っていますので持って入ったりしてございます。

そういったこともございまして、再度その本会議場における携帯品、それから服装に関する検討を行ってはということで入れたところでございます。

それについて、那須塩原クラブの意見としては、服装、携行品については現年度から検討するため、取組実行計画からは削除するという意見でございます。

他の会派からは意見はございませんでした。

そういった内容でございましたので、今年度からこの議場における服装については検討していくということで、来年度の取組実行計画には入れないということでいかがでしょうか。よろしいですか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、じゃ、今年度から検討するため、来年度の取組実行計画からは削除することにしたと思います。

続きまして、取組ナンバー19に行きます。

常任委員会における傍聴数の増加にということで、アウトプットについては常任委員会スケジュールの周知、それから傍聴者への配布資料の検討ということになってございます。

これについて那須塩原クラブからの意見としては、「常任委員会における」を「議会における」に変更する、①……ごめんなさい。

〔何事か言う人あり〕

○相馬委員長 「常任委員会」を全て「議会」にですね。常任委員会というふうに書いておりますが、議会というふうに文言を変更してはという意見でございます。

それから、アウトカムについては、「常任委員会」をここも「議会」に変更するというところでございます。

すみません、中里委員、これについて説明をもう一度お願いしてもよろしかったですか。

○中里委員 すみません、ちょっとお待ちください。

○相馬委員長 すみません、中里さん、大丈夫です。説明し直します。

取組ナンバー19の、もう既に、「常任委員会」におけるところを、全て、第7条関係でございまして、全て「議会」というふうに文言を置き換えるということでございます。なので、「常任委員会で傍聴数の」というところを、「議会」に、それから、アウトプットの「常任委員会のスケジュール」の常任委員会の部分を議会に、それから、アウトカムの「信任される常任委員会で」というところの常任委員会を議会にということで、すみません、全て議会に変更するということでございました。

鈴木委員、よろしいでしょうか。

○鈴木委員 ちょっと、これについての前に、確認、現状のことなんですけれども、わざわざ取組ナンバー19は、常任委員会におけるということをやっ

ているわけですね。議会についてはもともとこれだけのことはやろうとしていたんじゃないかと思うんですよ。

そうすると、議会だけではなく、常任委員会にクローズアップしてこの話で取組ナンバー19があるのかなというふうに考えると、常任委員会を外してしまったら意味がないんじゃないかなと思うんだけど。

これについては、そもそもどういう考えでこの取組ナンバー19を考えたのかというところが、そもそもだけちょっと確認させていただければ。

○相馬委員長 これもモニター意見からです。モニター意見の集約から常任委員会の傍聴者数が少ないというところから、傍聴人数増に関する取組ということでございました。

○鈴木委員 改めてなんですけれども、当然なんですよね、議会全体で傍聴者数を増やすというのは。

それで、モニターさんの意見、私はモニターさんの意見は貴重だとは思いますが、モニターさんの趣旨がその常任委員会の情報が足りないと言っているんだったら、ここはクローズアップさせないと意味がないんじゃないのかなというのがちょっと気になったところなんですけれども。まあ、どうなんだろうかねというだけですので、私は。あっても別に問題ないですけれども。

○相馬委員長 まず、モニターさんの意見としては、会議のスケジュールが分かりにくくてということで、当然12月はリモートでモニターさんが参加していた部分もございました。それから、資料も全て、もちろん議案書ですとか、そういったものがモニターさんにあるわけではないので、何を審議しているのか、分かりづらいというような意見から、②の傍聴者への資料の配布の検討。配布できるのかどうかについてはちょっとすぐには分かりませんが、どういった資料でやればいいのか検討

と。

それから、全ての会議のスケジュール、そういったものの周知の検討ということだったので、これはそうすると常任委員会ということではなくて、全ての本会議についてそういった資料の配布であったりとか、スケジュールの説明を求めているんだなということだったので、那須塩原クラブとしては、もう常任委員会ではなく全て議会としたほうがいいだろうというふうなことになったというところでございます。

よろしいでしょうか。大丈夫ですか。

じゃ、そのように変更させていただくということではよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

続いて、最後になりますが、取組ナンバー20に広聴広報機能の強化の取組ということで、取組ナンバー20を追加してはということで、公明クラブさんからの意見でございます。

これについて説明を田村委員、お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

○田村委員 やはり、いろんな各層の意見をアウトカムとかに書いてありますけれども、市民各層の意見、要望の把握ということをさらに進めるためにも必要でしょうし、あと、やはり市議会が住民に寄り添ったというか、そういう身近なものとして感じてもらうようなためにも、そういった手段というか必要ではないかというような趣旨でございます。

○相馬委員長 分かりました。

公明クラブさんからこのような意見が出てございますので、これにつきましては、再度、各会派持ち帰っていただきまして、次回の、実は次の委員会でこの取組実行計画については確定をさせていただいて、3月の議員全員協議会で説明すると

いう運びとさせていただきたいというふうに思いますので、この取組ナンバー20について、再度各会派で次の委員会までに御意見をいただければと思いますので、よろしくお願いをいたします。

以上で、(3)令和3年度 of 取組実行計画については終了したいと思いますが一よろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 はい、ありがとうございます。

続きまして、(4)那須塩原市議会会議規則の一部改正についてを議題といたします。

これについて、事務局から説明をお願いします。係長。

○佐々木議事調査係長 それでは、私から御説明をさせていただきます。

那須塩原市議会会議規則の一部を改正する規則の新旧対照表を御覧ください。

こちら改正内容といたしましては、広聴広報委員会を追加するというものでございます。現在、広聴広報につきましては特別委員会によって活動いただいているところでございますが、今度、改選がございまして、5月から新しい任期が始まるというところでございますが、広聴広報委員にしまして、特に議会だよりですね。5月になりまして早々に、また次の議会だよりの編集を始めたりというところもございますので、その特別委員会の設置を待たずに、委員の任命によってすぐ活動ができると、そういったようなところを趣旨としているところでございます。

現在の目的につきましては、一昨年の特別委員会の設置のときの目的と変更はございません。活動の内容については特に変更はございませんが、位置づけとしてこのような形で5月以降を運営できないかというところで改正をお諮りするものです。

説明につきましては以上です。

○相馬委員長 説明が終わりました。

ただいまの説明に対し質疑はございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ございませんか。

質疑がないようですので、本件については3月の議員全員協議会に報告の上、3月議会最終日に提案することで異議ございませんか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 異議ないものと認め、そのように取り扱います。

次に、(5)3月議会の対応についてに入ります。事務局から説明をお願いいたします。

係長。

○佐々木議事調査係長 それでは、私から御説明をさせていただきます。

3月定例会、間もなく始まりますということで、運営をどうするかというものについてお諮りをするものです。

主な内容、考えられるものについて、こちらの資料に基づき御説明を申し上げます。

まず、6月議会のときに対応した議員の半数入替え制、こちらを採用するかどうか。

それから、2点目といたしまして、執行部の提案説明、通常どおり口頭での説明を受けるのか、文書配付をもって説明に代えるのか。

3点目、通告制ですが、現在は当初予算と計画案件のみ通告制を採用しておりますが、全ての議案に拡大するかどうか。

4点目、こちら項目としては1個しかございませんが、執行部の出席者につきましては感染症対策の趣旨を踏まえ、執行部により適切に判断いただくということでここ数回の定例会に対応しておりますので、そのような形でいければというものでございます。

5点目、傍聴でございますが、通常に戻すのか、

現在、一席置きとしておりまして定員のマックスを18人としておりますので、それを変更するかどうかです。

6点目、委員会の場所及び中継ですが、1が従前のとおりです。委員会室で実施をして委員会中継を行わないというものでございます。(2)につきましては、議場、303会議室、委員控室の3か所をローテーションで使いまして、議場の日には中継を行うとするものでございます。(3)は、議場、委員会室を使用しますが、こちらローテーションで議場を使いまして、議場の日に中継をするものです。

7番目、委員会での執行部説明ですが、コロナ対策の観点から時間短縮のために、説明を省略し、いきなり質疑から行うのか。それとも通常どおり、まずは執行部の説明を受けてという形で行うのかです。

8点目でございますが、予算常任委員会、全体会の開催場所です。303会議室で行うのか、広い議場で行うのか。

その他としまして、3月の議員全員協議会が17日に予定されております。今月の議員全員協議会につきましてはZ o o mでの開催となりましたが、そういった開催方式ですとか、あるいは執行部からの説明とか、議員全員協議会について設定することがありましたら、今回の議会運営委員会で御決定いただきたいというものでございます。

資料の説明は以上です。

○相馬委員長 それでは、説明が終わりましたので、各項目について順次協議を進めてまいります。

まず、1の議員の半数入替え制についてですが、1月の臨時議会についても半数入替え制は採用してございませんでした。というところもでございますが、委員の皆様から御意見をいただければと思います。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 じゃ、半数入替え制については不採用ということでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

じゃ、不採用とさせていただきます。

続きまして、執行部の提案説明についてでございますが、これについても3月議会でございますので、通常どおり行うというふうに正副委員長としての意見はございますが、いかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

じゃ、通常どおり行うということに、(1)の通常どおりというふうにしたいと思います。

続きまして、通告制についてでございますが、これについても当初予算、計画案件のみという正副委員長案でございますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 じゃ、(2)ではなく(1)で通告制ということにさせていただきたいと思います。

続きまして、執行部の出席についてでございますが、これはもう(1)しかございませんが、執行部において適切に判断していただくということでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

続きまして、傍聴についてでございますが、通常どおりか18人とする、これまでどおり18人とするかということでございますが、現時点では黄色信号というふうになってございます。何の規定でしたか、黄色というのは。

〔「病床の」と言う人あり〕

○相馬委員長 病床のあれですね。当地域の病床の逼迫した状況から、今、現時点で黄色信号という

ふうになってございます。

これによって、今現在黄色信号の場合は18名のまま、それからこれがもし赤信号というふうなことになる場合には、3月の長いスパンでございまして、その時点で、赤信号となった場合には傍聴禁止というふうにしてはという正副委員長案でございますが、いかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 よろしいですか。じゃ、すみません、そのように取り扱わせていただきます。

続きまして、委員会の開催ですが、中継は議場でやれば中継ができるということになりますので、前回同様(2)番の議場、303、議員控室で、議場については中継というところではいかがかというふうに思いますが、皆さんいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

じゃ、(2)で進めさせていただきます。

続きまして、委員会での執行部説明についてでございますが、これも通常どおりということではいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

そのように取り扱わせていただきます。

続きまして、予算全体会でございますが、303か議場かというところでございますが、これについても議場でということで皆さんいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

それでは、最後、その他でございますが、3月の議員全員協議会についてでございますが、これについても議場で、リモートではなく議場で行うということではいかがでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

じゃ、そのように取り扱わせていただきます。

ただし、すみません、この後諮る内容でございますが、3月8日に議会運営委員会が、この後予定したいというふうに、そこしかもう日程がないもので予定したいと思っておりますが、その時点で、先ほど言った黄色信号から赤信号に変わった場合は、再度Zoomも検討すると、3月8日の議会運営委員会で再度検討するという注釈つきでよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

じゃ、そのように取り扱わせていただきます。

それでは、続いて、(6)その他に入ります。

委員の皆様から何かございますか。

山形委員。

○山形委員 6番の委員会の場所のことなんです、議員控室で委員会をしていると、廊下にいる方の声がちょっと漏れて、議員控室から聞こえてきて、気をつけてはいるんですけども、そのへんちょっと注意をしておかないと、また窓を開けてしまったりドアを開けてしまったり、そういったものが前回ちょっと委員会でありましたので、そこらへんを何か改善策をしていただきたい。

○相馬委員長 はい、分かりました。

事務局、これについて何か検討できる事項はございますか。

課長。

○小平議事課長 前回途中でやはり声を出している人がいるということで、看板を立てて静かにとかということもやりましたので、今回につきましてはそういったことや、できるだけ委員会中はこちらの前を通らないような指導をしていきたいと思っておりますので、その対応でよろしく願いいたします。

○相馬委員長 ありがとうございます。

それでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、事務局から何か
ございますか。

係長。

○佐々木議事調査係長 それでは、私のほうから2
点ほどお諮りしたい事項がございまして、1点目
でございまして、今、資料をお送りしたものでご
ざいますけれども、3月議会の上程案件に手話言
語条例の制定というものがございまして。今回、聴
覚障害者協会から社会福祉課を通じて議会に申入
れがございまして、この手話言語条例を制定する
場面に聴覚障害者数人で傍聴に来たいという内容
でございまして。

その上で、2つほどお願いしたいということで
ございまして、1点目、手話言語条例を可決後に
暫時休憩としていただいて、三役、それから議員、
そして聴覚障害者が議場の中に入って、写真撮影
をする機会を設けていただきたいというものです。

こちらは今の資料の3ページ目に、他市の議会
で成立をした場合に撮った写真がございまして。こ
のような形で議場の中で集合をして、横断幕は先
方で用意をしたいということなんです、このよ
うな形で休憩中に写真撮影をする機会をいただい
てお願いをしたいというものがございまして。

さらに、もう一点が、聴覚障害者が傍聴に来ま
すので、傍聴席にいても何をしゃべっているのか、
その討論の内容とかが全く分からないということ
ですので、手話通訳者を配置していただきたいと
いうものでございまして。できましたら、見やすい
場所ということで、議長の付近に手話通訳者を入

らせていただいて、こちらの派遣費用につきまし
ては社会福祉課の予算で対応できるということな
んですが、手話通訳者を入れて、その手話言語条
例に関する審議の状況とかを把握できるようにし
たいというところで、議会運営に関することでご
ざいますので、議会運営委員会の中でそのような
申出に対してどのように対応するか御決定いただ
ければということでお諮りするものでございまして。

説明につきましては以上です。

○相馬委員長 説明が終わりました。

質疑はございまして。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、まず写真撮影に
ついてでございまして、休憩時間について写真撮
影を行うということで皆さんよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 続いて、手話通訳者の配置を議長の
付近にというようなことではございましたが、それ
については議場に手話通訳者を配置するというこ
とで了承するということがでしかる。

御意見ございまして。よろしいですか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 では、そのように取り扱いたいと思
います。

じゃ、以上の内容で決定を見たいと思います。

そのほか、その他としては何かございまして。

係長。

○佐々木議事調査係長 すみません、事務局からも
う一点お諮りいたします。

今、資料としてお送りいたしましたiPadの
入替えに関する作業でございまして。今回、任期満
了を4月末に控えまして、現在議会で使用してい
るタブレットの運用について、このようなスケジ
ュールで考えていますということで御説明をさせ
ていただくものでございまして。

スケジュール一番左のところに本日の議会運営委員会がございます。この後、2月26日から3月定例会が開催となりまして、その後4月30日の任期満了というふうになってきますが、議員が替わるということが想定されますので、一旦タブレットを全て事務局のほうに戻していただくということを想定しております。

実際に戻していただく時期といたしましては、3月18日の閉会日から4月16日、こちらを最終回収日といたしまして、この中のいずれかで事務局に返却をいただきたいというものでございます。

返却するものといたしましては、タブレットのほか充電器、そしてバッテリーがございますので、そちらの付属品も含めて事務局に一度戻していただくということを想定しております。

返却後につきましてはサイボウズでの連絡等ができないというケースも想定されますが、まず1点目、アカウントにつきましては4月30日までそのままにしておきますので、タブレットを返却した場合であっても、お持ちのスマートフォン等でサイボウズにアクセスすることはできますので、そちらで御覧いただくか、その他既にメールアドレスの御連絡をいただいておりますので、3月18日以降につきましては、連絡事項はサイボウズと併せてメールでもお送りしたいというふうに考えてございます。

その後、4月25日に市議会議員選挙の投開票がございますので、新しい5月以降のメンバーが確定した段階で、事務局のほうで4月26日から作業を行います。作業を行った後、5月6日、連休明けに議員の皆様へタブレットをお配りする予定を考えております。

現在、議員の方で5月以降も引き続き議員とされる方につきましては、特に設定の変更等を行わずにそのままお渡しする予定ですが、変更があ

る場合には、新しい議員の方用に現在のタブレットの内容をリセットしまして、新しいアカウントを設定してお渡しする予定となっております。

現在、議員の方で議案書ですとか、いろいろな資料をお手元に残したいという方につきましては、4月30日までの間に各自でデータ抽出作業をやっていただくという形で想定をしております。

このような形で進めたいと思っておりますので、御了承いただければと思います。

説明は以上です。

○相馬委員長 今説明が終わりましたiPadの入替えについてはそのように、今説明のとおりとすることでよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ありがとうございます。

それでは、その他として何かございますか。

中里委員。

○中里委員 先ほどの手話言語の写真撮影についてなんですけれども、この3ページの写真を見ますと、2017年と2018年のときに撮っているんです。かなり感染症前なのでこういう撮り方ができたというふうに思うんですけれども、写真撮影をした場合には必ず多分公開されるというふうに思うんですね。なので、写真の撮り方とかちょっと工夫が必要なのかなというふうに思いますので、その辺の対策のほうをしっかりと考えていただければなというふうに思います。

以上です。

○相馬委員長 分かりました。

よろしいでしょうか。

そのように検討していただきたいと思います。

ほかに何かございますか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 ないようでしたら、私からでございますが、先ほど取組実行計画の中で来年度の計画

から外したものの、いわゆる緊急質問についてのガイドライン、それから議場での服装、それから携帯品についての再度規定、そちらの変更等を、次回の議会運営委員会で頭出しをさせていただければというふうに思います。

ということで、次回の議会運営委員会ですが、3月8日議案質疑がございます。その3月8日議案質疑終了後ということで、皆さんよろしいでしょうか。

〔発言する人なし〕

○相馬委員長 それでは、次回の議会運営委員会についてはそのように3月8日ということにさせていただきます。

ほかに皆様から何かございますか。

〔発言する人なし〕



◎閉会の宣告

○相馬委員長 ないようでしたら、これをもちまして本日の議会運営委員会を閉会いたします。

大変長時間お疲れさまでございました。

閉会 午後 零時51分